

# 燕市IoT推進ラボ

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 目的：工業や農業といった“ものづくり”に携わる企業の生産性向上や技術高度化を図るため、産学官金によるネットワークを強化し、インダストリー4.0の潮流に乗りながらも産地の特徴を最大限に生かした取組を行うことで、未来（次世代）に向けた価値を創造するものづくり産地を目指す。
- 概要：セミナー・研究会の開催や実証実験の実施による意識啓発、（仮称）燕版共用クラウドの開発・運用による基盤構築に取り組む。

### 重要業績評価指標（KPI）

- 本事業により、令和3年度までに次の内容を達成する。
- 労働生産性：959万円／人（54万円／人増加）
- ラボメンバー数：50社（50社増加）
- クラウド利用企業数：15社（15社増加）

### 今後の展開

- 本事業により、生産性向上や技術高度化を図ることで、産地が持つ能力を最大限発揮し、グローバル市場の中でのものづくり産地としての競争力を高める。

### 事務局

- 新潟県燕市産業振興部商工振興課

#### プレイヤー

- ユーザー企業
- ベンダー企業
- 農業関係者 等

#### アドバイザー

- 湯川教授（長岡技大）
- 横山CD（新潟大）

#### サポーター

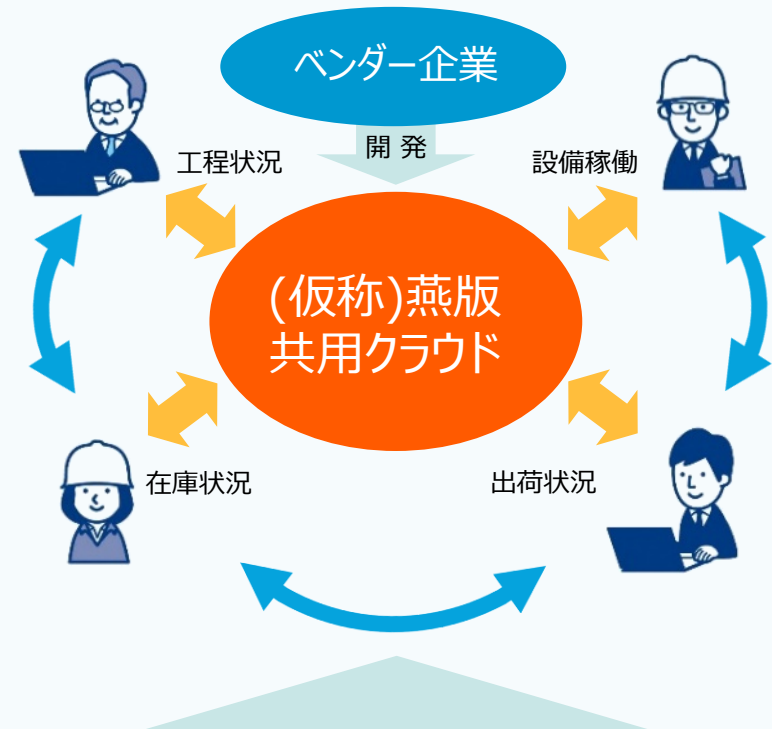
- 商工会議所、商工会
- 地場産センター
- 金融機関

#### 事務局

- 燕市

## 事業イメージ

未来（次世代）に向けた価値を創造するものづくり産地へ



アドバイザー(大学)  
・助言、コーディネート

サポーター(支援機関)  
・情報共有、技術支援、経営相談

事務局(燕市)

・セミナー開催、共用クラウド開発・運用、ラボ内外との調整など